

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性がある方で、研究に関するご質問、診療情報等を研究に利用または提供されることを希望されない場合には、下記の問い合わせ先まで、お問い合わせ下さい。

研究機関名	公立学校共済組合 近畿中央病院
研究課題名	待機的手術を行う急性胆嚢炎に対する経皮経肝胆嚢ドレナージの適切な実施時期についての検討
所属科	外科
研究責任者	南 健介
研究実施期間	開始 西暦 2022 年 8 月 15 日～ 終了 西暦 2022 年 12 月 15 日(予定)
対象疾患(症例数)	当院救急外来・消化器内科・外科を受診した急性胆嚢炎患者の中で、初診時入院中問わず経皮経肝胆嚢ドレナージ(以下 PTGBD)を実施し、その後外科手術の方針となり、鏡視下で手術を開始した患者を対象にする(111 例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2014 年 4 月 1 日～ 至 西暦 2022 年 3 月 31 日
研究概要	PTGBD は最新のガイドライン(急性胆管炎・胆嚢炎診療ガイドライン 2018)において、手術リスクの高い急性胆嚢炎患者に対する標準的治療として推奨されているが、その適切な実施時期、また PTGBD 実施後の適切な手術時期について、一定の見解は得られていない。待機的手術を行う急性胆嚢炎に対する経皮経肝胆嚢ドレナージの適切な実施時期についての知見を得ることを目的に、当院での治療成績を用いて、介入を伴わない後ろ向き観察研究を行う。2014 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までに当院を受診した対象患者において、背景情報、検査結果、手術時間、出血量、術中合併症、入院日数など、周術期に関する情報を電子カルテから後ろ向きに収集し、解析を行う。
倫理的配慮・個人情報保護の方法について	症例登録及び症例報告書等の作成の際には、研究対象者を特定できる情報は入力せず、被験者識別コードリストを用いて研究対象者を識別する。なお、識別コードは厳重に保管する。また、研究責任者等が研究で得られた情報を公表する際には、研究対象者が特定できないよう十分に配慮する。
研究の問い合わせ先	公立学校共済組合近畿中央病院 外科医員 南 健介 〒664-8533 兵庫県伊丹市車塚 3 丁目 1 番地 電話番号：072-781-3712(代表)